

地球市民学科3年 大隈 うたさん (チャレンジ支援奨学金)

－奨学金の支給対象となった活動内容について教えてください。

NPO法人ワールドシップオーケストラにオーボエ奏者として参加し、春休みを利用してカンボジアとフィリピンへ渡航して、現地の子どもたちに音楽を届けてきました。

カンボジアでは日本人保育園や現地の小学校、日本カンボジア友好絆フェスティバルで演奏をしました。フィリピンでは学校での演奏に加え、アジア最貧困地区ともいわれるマニラトンド地区のジュニアオーケストラチームと共演し、音楽を通じて彼らと心を通い合わせることができました。コンサートの終演後には楽器体験を実施し、子どもたちに実際に楽器演奏を体験してもらいました。



カンボジアの小学校で演奏♪
多くの子どもたちが熱心に演奏を聴いてくれました



オーボエを吹く大隈さん

－活動を終え、今どのように感じていますか。

これまでも日本で吹奏楽やオーケストラに取り組んできましたが、演奏会に足を運んでくれるのは部員の家族や音楽に関心のある方がほとんどでした。演奏を良く評価してもらうことにばかりとらわれ、自分が音楽で誰かを元気づけているという実感がもてず、どこか自己満足に思えることもありました。そんな中、まだ音楽体験があまりない子どもたちに向けて演奏を届けられたことは、自分にとって大きな意味をもちました。演奏を聴いた子どもたちが目を輝かせながら楽器に触れ、「楽しかった」と笑顔で話してくれたことが印象に残っています。

また、生活環境の異なる子どもたちと音楽を通じて交流する中で、私自身も多くの力をもらいました。ぜひ、またこの国を訪れて、彼らと再会し、再び一緒に音楽を奏でたいと強く感じました。

－この経験を今後どのように活かしていきたいですか。

今回の経験を通して、多様な価値観や生き方に触れることができ、自分の中の世界が大きく広がったと感じています。とくに、トンドの貧困地区で共演した子どもたちのたくましさは、強く私の心に残りました。これまでの自分の常識や、当たり前だと思っていたことが、ほかの場所では当たり前でないことを身にしみて感じ、物事を多角的にとらえる視点の大切さを学びました。今後は、どんな立場や背景を持つ人に対しても偏見を持たず、相手の立場に立って考える姿勢を大切にしていきたいです。

将来的にはこの経験を活かし、異なる価値観をつなぎ、人と人との橋渡しができるような役割を果たしていきたいと考えています。



－チャレンジ支援奨学金を目指す後輩たちへ向けてメッセージやエールをお願いします。

迷いや不安があっても、まずは一步を踏み出してみてください。私自身、異国の地で演奏することに不安もありましたが、実際に子どもたちと音楽を通して心を通わせた時間は、何ものにも代えがたい宝物になりました。たとえ最初は自信がなかったとしても、真摯に向き合い、努力を重ねる中で見えてくるものが必ずあると思います。どうか自分の「やってみたい」を大切に、一步を踏み出してみてください。皆さんのチャレンジを応援しています。



マニラトンドの貧困地区。ここに暮らす子どもたちと一緒に演奏しました



楽器体験♪ 初めて音が出せたときの嬉しそうな表情が印象に残っています